

計画の基本的な考え方

1 計画の基本理念と目標

(1) 基本理念

本市の将来像は「新たな力とともに創る 笑顔と元気のみなとまち へきなん」を掲げ、新たな力として次代を担う若者や産業基盤、先端技術などにより明るい未来に向けた持続可能な豊かな市民生活を目指しています。

高齢者福祉分野では、障害の有無にかかわらず市民が相互に支え合うことができる地域共生社会を目指しています。また、高齢者の社会参加を支援するとともに、日常生活支援や地域による見守り活動、住まいの環境向上などを推進して、高齢者が地域で安心・快適に暮らせる環境を目指しています。

本計画の基本理念については、これまでの「地域包括ケアシステム」の深化・推進の取り組みとの連続性、整合性から第8期計画の理念「高齢者が安心して暮らせる あたたかい共生のまちづくり」を引き継ぐものとします。

この基本理念に基づき、さらなる地域包括ケアシステムの充実により、高齢者が“ほっと”できる「安心」と“ホット”な支え合いの「あたたかさ」が感じられるような、共生のまちづくりを目指します。

【 基 本 理 念 】

高齢者が安心して暮らせる あたたかい共生のまちづくり

(2) 目標

目標については、第8期の考え方を継承し、地域の実情に応じた施策・事業の充実を図っていきます。

1 健康と生きがいづくり

いつまでも元気でいられるように、健康寿命の延伸と、生きがいの創出を目指します。

2 支え合う地域づくり

ひとのわでお互いを支え合う、あたたかく住みよい地域づくりを目指します。

3 安心して暮らせる環境づくり

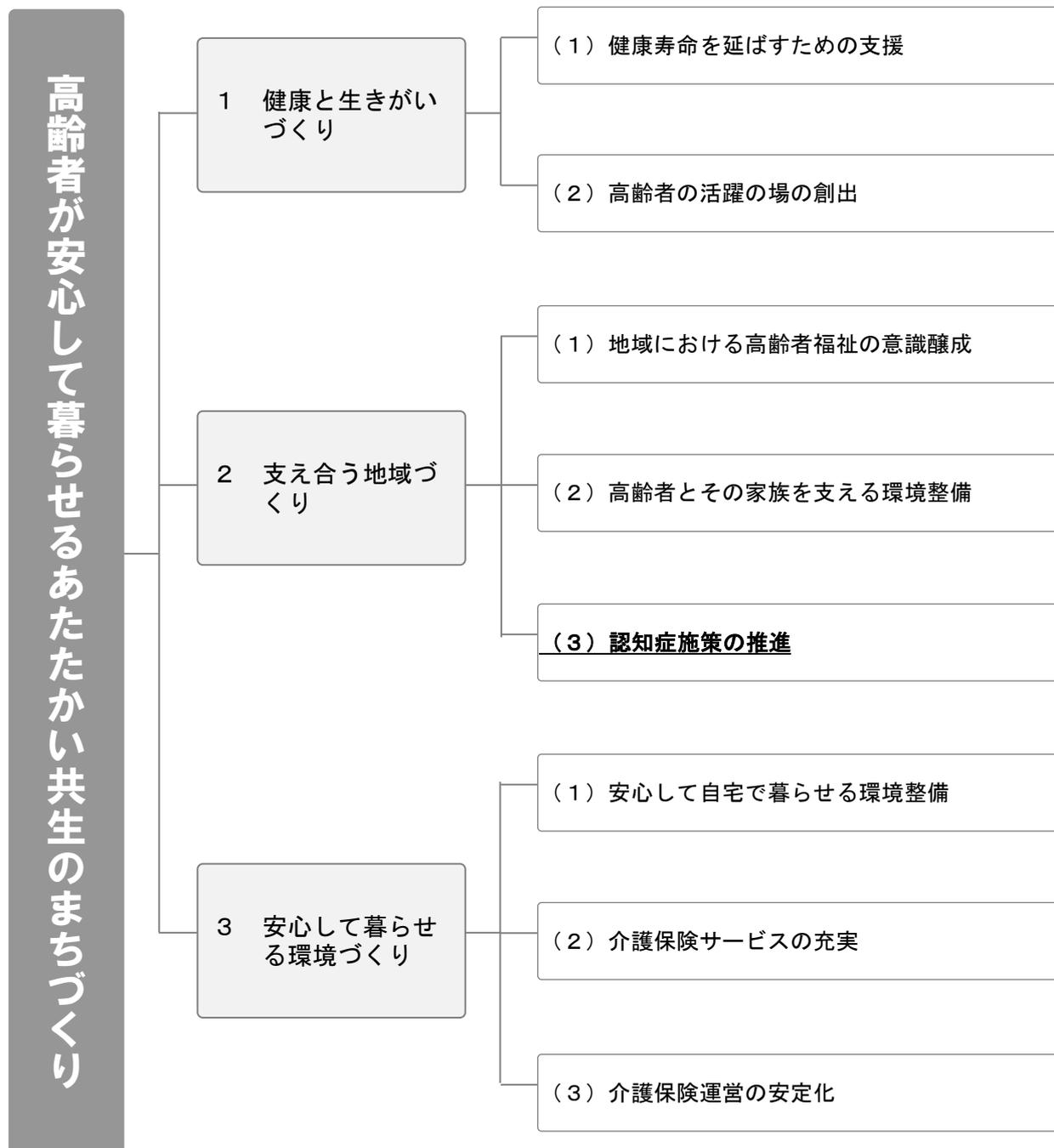
住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らすことができる環境づくりを目指します。

2 施策の体系

[基本理念]

[目標]

[基本施策]



4 日常生活圏域

介護保険事業計画では、高齢者が住み慣れた地域生活を継続することができるよう
 するため、地理的条件、人口、交通事情、その他社会的条件、介護給付等対象サービ
 スを提供するための施設整備状況などを総合的に勘案して、市内日常生活圏域に分け、
 区を定めることされています。

本市では、日常生活圏域を引き続き6つに定めて、地域密着型サービスやその他の
 高齢者サービスの面的な整備を推進します。

